

令和元年度 事業報告書

〔総括〕

今年度は、6月に入院が重なり稼働が90%を割るという状況がありました。また、初冬から年末にかけても再度入院が増えましたが、安定した時期に稼働を上げることでマイナスを補い、最終的には予算設定の96%の稼働を確保しました。結果、ほぼ予算どおりの実績となりました。

施設整備については、予定していた内装改修工事や暖房設備改修工事等を一旦保留とし、急を要すると判断したナースコール改修工事に着手しました。これは、特に夜間において不具合が生じるという介護現場からの改修要望に応えたものです。ただ、こちらの工事も台風の被害により部品が水没する等進行が遅れ、年度内に工事を完了することができませんでした。4月にはほぼ完了し順調に作動しています。

例年のインフルエンザに加え、新型コロナウイルスの影響により長期に亘り面会制限を実施しています。利用者の皆さま、ご家族様にはご迷惑をお掛けしているところですが、今後も利用者様の安全を最優先に考え、判断・対応してまいります。

以下、事業計画で掲げた各課・各委員会の目標につきまして、項目ごとに報告いたします。

業務課

充実した生活を過ごせるよう援助します

- ① ユニット毎に個々に合ったオムツを考え、オムツ外しに取組み実践します
ADLの低下からオムツ外しの実践には至りませんでした。パッドを小さいものに数名が変更できました。
- ② 個々に合わせた余暇活動の提供を実践します
少人数での塗り絵、貼り絵、テラスでの外気浴、買い物等ドライブを実施しました。

管理課

和敬園職員としての自覚を持って、車輛の安全運転と外部の人に対応します

車輛について敷地内で破損事故が1件ありましたが、その他事故発生等はなく、3台の車両にドライブレコーダーを搭載し、安全意識を高めました。

給食委員会

利用者様に『おいしい』と言っていただけの食事を1回でも多く提供します

尋ねた時には「おいしい」と言っていたので、良かったと思います。

安全対策委員会

日常的な介護に対し、安全を最優先に取組みます

車椅子移動について、安全性が高まるよう問題提起し各ユニットで対応法を検討、その人に応じた介護の提供につなげました。

行事委員会

余暇活動を活用し、レクまたは外に出て楽しむ機会を増やします

バラ園の見学や余暇活動に日光浴に出る等、意識して機会を持ちました。

機能訓練検討委員会

ポジショニングについて

- ① 個々の利用者様に適切なポジショニングの実施と見直し、体交枕の使用を職員同士、声を掛け合い行います
体交枕が写真と違うこともあり、その場に居合わせた時は声掛けを行っています。
利用者様にとって安楽な姿勢になるような体交枕の当て方を改めて見直します。
- ② 全職員への周知徹底とレベルアップを行います
全職員への周知徹底には至らなかった。

機能訓練について

- ① より多くの方に参加してもらえるような、日常生活の中でのリハビリやレク的な運動、月に一度を目標とした様々なリハビリレク、ラジオ体操を取り入れます
小規模訓練やラジオ体操、レク等を楽しみにしている方もいるので、今後も継続していきます。
- ② ショート利用者様のADL低下防止のため、積極的にリハビリの参加やレク的な運動の声掛けを行います
今後も継続していきます。

環境・サービス向上委員会

家庭的な雰囲気づくりをします

利用の減ってきた機能訓練コーナーにテーブルとソファを設置して、くつろぎのスペースを設けたほか、言葉遣いに対する注意喚起を継続しました。

その他、各業務別の報告、年間事業報告表を添付いたします。